

ヨコハマの国際事業の  
主な動きをお届けする

# YOKOHAMA INTERNATIONAL DIGEST

平成 29 年 8 月 21 日  
【発行】横浜市国際局政策総務課  
企画担当 045-671-4710  
ki-somu@city.yokohama.jp



【インドネシア・バタム市にて BIFZA との協議の様子】

## バタム、バンコクで現地のインフラ開発に関する協議を行いました

7月11日に、本市が技術協力を進めているインドネシアのバタム市を国際局職員が訪問しました。



バンコク都公共事業局との協議

バタム市及びバタム市内の港湾や上下水道、工業団地開発等のインフラ施設を所管するバタムフリーゾーン監督庁（BIFZA）と、今後の連携の方向性について協議が行われました。

また、7月13～14日にかけてバンコクを訪問し、タイの工業団地のスマート化や道路舗装用の廃材リサイクル処理について、現地事業者や関係機関との協議及び視察が行われました。

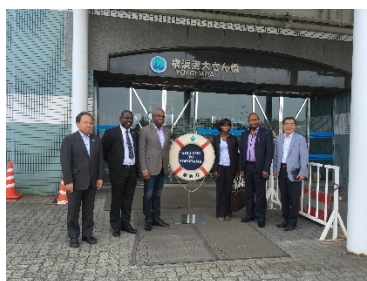


バタミンド工業団地内汚水処理施設

## ベナン共和国の大臣が横浜市内を視察しました

アフリカ開発銀行及び在京アフリカ外交団主催のビジネスフォーラム出席のために来日したベナン共和国のトナト生活環境・持続的開発大臣が、7月24日に横浜市に来訪しました。

大臣は港湾局の港務艇に乗船して横浜港を視察後、資源循環局鶴見工場・鶴見資源化センターを視察しました。



横浜市は平成25年にベナン共和国コトヌー市と交流・協力共同声明を行い、交流をスタートし、港湾分野の技術協力などを進めています。港務艇では、港町として発展してきた横浜の歴史や、現在の港の機能などについて紹介がありました。

鶴見工場・資源化センターでは、横浜の廃棄物処理行政について説明するとともに、廃棄物分野におけるアフリカと横浜の結びつきについて紹介がありました。

## 世界を目指す若者応援事業 帰国者懇談会を開催しました

8月8日に、平成28年度に世界を目指す若者応援事業で留学した方々の帰国者懇談会を開催しました。皆さんからは、留学中の経験談を話していただきました。



また今後皆さんには、10月のアジア・スマートシティ会議での応援や、来年3月末（予定）の留学報告会での成果発表を行っていただきます。これからの活躍に期待しています！

《経験談より》

「最初の数か月は言葉が通じず苦勞したが、勉強した分認めてもらえた。」

「中国語、スペイン語など英語以外の言語にも興味を持った。努力を続ける大切さを学んだ。」

「文化が日本と似ているところもあったが、違うところも多いいことを学んだ。」